

2023 DUNLOP 挑4 ENJOY & FLR CUP FLR CUP

特別規則書

第1章 大会開催に関する事項

1・イベントの開催場所・日程

Rd.1	つま恋カートコース	4月2日	予選スプリントレース&200分耐久
Rd.2	つま恋カートコース	6月4日	予選スプリントレース&200分耐久
Rd.3	つま恋カートコース	9月10日	予選スプリントレース&200分耐久
Rd.4	つま恋カートコース	11月19日	予選スプリントレース&300分耐久

※諸般の事情により、変更される場合があります。

2・大会コンセプト

- 1) スポーツマンシップに準じ、順位にこだわらず完走目標で全チーム全参加者が楽しめるイベントを目指します。
- 2) ペナルティがなくマナーの良いモータースポーツイベントを目指します。
- 3) 初めて参加するチームに対しても、参加者の協力で暖かく迎え入れ全員で楽しめるイベントを目指します。
- 4) 本大会規則書に順じルールとマナーを厳守し、他を中傷せず、安全で公平なモータースポーツを楽しめるイベントを目指します

3・大会の延期、中止及び変更に関する事項

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止することができます。イベントすべてが取りやめになった場合エントリー費は大会事務手数料を引いて返還されます。延期の場合エントリーフィーはそのまま引き継がれますが、返還希望の場合は手数料を引いて返還されます。エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有しません。なお、主催者はイベントの内容及び規則をシーズン途中であっても変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

第2章 大会参加に関する事項

1・エントリー、各種費用(税込み)

- 1) エントリー費用 1チーム ¥40,000- (Rd.4 ¥50,000- /年間エントリー者 ¥40,000-)
- 2) 大会指定ディストリビューション ダンロップ SL98タイヤ ¥28,600
- 3) エンジンレンタル ¥6,600-
- 4) シャーシレンタル ¥8,800-

2・エントリー受付及び受理

1) エントリー受付

開催日の1ヶ月前からの受付開始となります。

エントリー費は指定期限までに銀行振込及び、カートコースにてお支払いください。

遅延エントリーには、事務手数料2,000円がかかります。ご了承ください。

ゼッケンナンバーは前年度参加者を優先し、先着順となります。

開幕戦エントリー時に年間エントリー宣言ができます。年間エントリー宣言者には、最終戦のエントリー費の割引が適用されます。(最終戦までの全戦出場が条件。エントリーせずに全戦出場しても割引は適用されません。)

エントリーはHP、カートコース受付、E-Mail : f_lap@mac.com、FAX:053-474-0077、公式グループラインまで。

2) 参加資格

中学生以上で、健康でカートをコントロールする技術を有し、走行ルール、マナーを熟知し、安全に楽しくイベントができるドライバーであること。安全に走行できる装備で参加できる者。

中学生のドライバーはチーム全体の50%以下とします。未成年者は親権者の同意が必要です。

18才以下のドライバーは、カートライセンス必備とします。

1チームの参加人数は2名～6名（最終戦は3名～6名）とします。

3) ドライバーの登録・変更

エントリーネームは、8文字以下で本人を確認できる場合のみ可とします。

原則一週間前までに確定。当日受付までは変更が可能ですが当日変更は有料とします（事務費@3,000円）

4) FORMATION LAP PROJECT (FLP)安全協会

ドライバー全員が2023年度FLP（2023年4月から2024年3月まで有効）の加入が必要となります。

レースにドライバーとして参加せずピットクルーとして参加する場合も、FLP必備となります。

ピットクルーはレース中のピット作業、カートの整備、給油作業の補助等ができるものとする。

レース前日までに事務局、カートコース受付にてお手続きを済ませてください。

5) エントリーの完了

チーム編成登録の提出、FLPの加入手続き、エントリー費のお支払いが確認された時点でエントリー受付完了とします。一旦受理されたエントリー費及びFLP会費は、いかなる理由があっても返還されません。

6) 提出書類について

エントリーに必要な書類は当日受付までに提出願います。

誓約書にチーム全員の署名・車検自己申告書・車載カメラ承諾書、無線装置承諾書。

7) 主催者の権限

主催者は理由を示さずエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。

この場合、エントリー費は全額返還されます。また、拒否通知は前日までに通知されます。

第3章 出場車両に関する事項

1) エンジン規定、その他について

使用エンジンはYAMAHA MZ200-RK(7DH),MZ200-RKC(7D9)のみとし、エンジン本体は完全ノーマルとする。

※変更が許される項目

ジェット：1HX-14231-18,1HX-1423E-36-A0,1HX-1423A-69(標準),1HX-1423E-37-A0,1HX-E4143-19-A0

マフラー：溶接補強、補強ステーの追加。

エアシュラウド：7CN-E2651-01

プラグ、オイル、マウント：自由

ガスケット：純正品に限る

ピストン：7ED-E1631-10-A0,7DH-E1635-00,7DH-E1636-00

ピストンリング：7DH-E16100-00,7DH-E1610-10,7DH-E1610-20

エアークリーナー：ヤマハ純正（7CN-E4410-50）改造不可か、純正マニホールド+エアークリーナーに変更可。

マニホールド：ヤマハ純正（7DH-E440P-SP）に変更可、使用エアークリーナーはヤマハ純正かFLP指定品とする。

ブローバイの 대기開放を禁止する：キャッチタンク必備

使用ガソリン：一般市販のレギュラーまたは、ハイオクガソリンに限る。

2) 車両規定、その他について

フレームは安全に走行できる車両であることとし、自由とする。

カウル類は前後左右ともに規定の取り付け方法で取り付けられたものとし、テープ等で取り付け部分を補強したりすることは禁止します。リアは大型金属バンパーでも可とする。フロントブレーキの搭載は自由とする。

バックミラーの搭載は自由。その場合はフロントゼッケンパネルステー等、金属部への取付けとする。

予備チェーンの搭載は不可とします。

前後、上部からチェーンが見えないようなチェーンガードを必備とします。

ゼッケンは前後左右必備とし、わかりやすい書体とし色、ベース色は自由とする。

希望ゼッケンは、前年参加車両を優先し先着エントリー順とする。

フロントドライブは変更不可、リアドライブは71, 72, 73/219のいずれかとする。

3) タイヤ、ホイール規定について

指定タイヤはダンロップSL98オールウエザータイヤとし、主催者から販売配布されるタイヤのみとします。中古タイヤの場合は前回までに使用しFLP印の押されたものの使用は可能。安全なレイン多走行可能な前後溝のある(2mm以上)タイヤが1セット以上必要となります。測定方法はタイヤ空気圧を1.0入れた状態で、進行方向と90°に指定タイヤ溝ゲージをセットし、中央溝の深さを測定いたします。(測定交差90%)レース終了後トレッド剥離していた場合は失格とします。公式練習を含めレースに使用できるタイヤは、車検で封印された2セットまでとする。

ホイールサイズはフロント130mm以下、リア180mm以下。材質は自由とする。

4) 車両検査について

車両は受付時の車検自己申告書の提出をもって自己管理とします。

朝の車検では各ドライバーの重量のみを計測し、決勝ゴール後の車両重量を決定します。各ドライバーは走行装備品を持参し、チームごとに重量計測を受けてください。使用タイヤは車検にて封印いたします。

車両の重量設定は車検終了後に各チームごとに確認してください。

技術委員が行う条項の検査に応じない場合は失格となります。

5) 重量規定について

規定最低重量は、ドライバーと車両の合計で150kgとする。TT、予選後はドライバーと車両の合計で150kgを計測します。決勝レース後の重量はドライバー平均値とマシンの合計で150kgとしますが、計測は車両のみとします。

決勝スタート後のウエイトの調整は禁止します。

女性ドライバーは+10kgで計測とする。(但し、現役カートドライバーは除き、緩和規定は1チーム1名までとする。)

ウエイト搭載はM6以上のボルト、2本以上での固定とする。

6) 車両無線・携帯電話の使用について

日本電波法に合致する車両無線、携帯電話の利用を許可します。

使用できる無線装置は技適マーク付きの無線装置に限り、車検時に申告書の提出が必要となります。

必要書類の提出はチーム側で準備するものとする。



7) 車載カメラについて

個人での記録のため等、車載カメラの使用を許可しますが、レース結果の抗議等の資料としての使用は認めません。

8) 服装、装備について

服装は上下がつながっているつなぎ(長袖、長裾)以上を原則とします。グローブを着用(軍手は不可)

カート用レーシングスーツ着用を強く推奨します。

ヘルメットはフルフェイスを着用。(オートバイ用も可、ジェット型は不可)

リッププロテクター、及びネックガードの装着を強く推奨します。

第4章 レース進行に関する事項

1・ドライバーズブリーフィング

ドライバーズブリーフィングは全員参加とする。

2・フラッグ

黄旗：危険信号。速度を落とせ。追い越し禁止。

1本振動：トラック脇あるいはトラック上の一部に危険箇所がある。

2本振動：進路変更あるいは停止準備。全面的または部分的にトラックが閉鎖されている。

緑旗：トラックが走行可能である。

NZ解除、再スタート。

青旗：自分を追い越そうとしているより速い車両に進路を譲れ

チェッカーフラッグ：レース終了

黒白斜め旗：スポーツ精神に反する行為をしたドライバーにに対する警告

※番号と同時に出された場合は、ピットスルーペナルティ

オレンジボール：車両に機械的欠陥が認められるため、表示された数字の車両はピットインを命ぜられる。

赤旗：大きなアクシデント等の発生により競技の継続が困難な場合。

3・公式練習及びタイムトライアル

全てのドライバーは、公式練習の時間内に走行する義務があります。公式練習の残り10分になるとピットロード入り口が閉鎖されます。同時にタイム計測が開始されチェッカーまでの間に記録されたタイムによりスプリント予選のスターティンググリッドが決定されます。ゴール後車検にて規定重量の計測があります。

T/Tでの重量失格の場合は、タイム抹消により予選最後尾スタートとする。複数台の違反車が出た場合は、不足重量の少ない順にて予選スタート順位を決定する。

4・スプリント予選

T/T順位により整列し12周の予選スプリントレースを開催します。予選での重量失格の場合は、順位抹消とし決勝最後尾スタートとする。重量失格車が複数出た場合は、不足重量の少ない順で決勝グリッドを決定する。

5・レコノサンス

決勝スタート30分前になるとピット出口がオープンされます。15分後のゲートクローズまでに各車両は自走にてスターティンググリッドに着きます。ゲートクローズまではコースの走行が可能です。走行が必要な車両はグリッドを回避しピットロードを迂回してコースを走行して下さい。グリッド上での工具の持ち込み、作業は禁止とします。ピットクローズ時間までは、ピット作業も可能です。ゲートクローズに間に合わなかった車両は、ピットレーンスタートとします。

6・決勝

決勝スターティンググリッドは予選を完走（7周以上を走行）した予選順位上位10位までリバースグリッドでのスタートとなります。スタート時間2分前にフォーメーションラップが開始され、グリッドに再整列後シグナル点灯。その後シグナル消灯にて決勝レースがスタートします。フォーメーションラップのやり直し等がありスタート時間が5分以上遅れない限り、レーススタート時間はシグナル消灯時間ではなく、決勝スタート予定時間でカウントをスタートします。この場合の時計はオフィシャルの時計を正しい時間とします。順位はレース終了時間後、コントロールラインで最多周回数の車両にチェッカーが振られ、チェッカーを受けた完走車はその周回数で順位が決定いたします。完走者とはトップがコントロールラインを通過し3分以内に自力で同ラインを通過しチェッカーを受けた者となります。チェッカーを受けていない車両はチェッカーを受けた車両の後に順位を確定する。規定の時間を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点を以ってイベント終了とします。また遅れて(時間又は周回数)チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、イベントは規定の周回数で終了したものととして順位が決定されます。コントロールライン通過後チェッカーを受けたドライバーは徐々にスピードを落とし(追越禁止)コースを走行してピットインしなければなりません。

7・ドライバー交代

各チーム指定された時間内に1回以上、合計最低9回以上指定された場所でドライバーチェンジをしてください。その際必ず停止線で完全一旦停止後、指定エリアに進み交代してください。前車が交代エリアに停止している場合は停止線にて待機してお待ちください。各登録ドライバーの出走回数は、チーム内で最多回出走ドライバーと最小回数出走ドライバーとの回数の差を①回以内とし、各自、最低連続走行時間15分1回をクリアするものとする。各ドライバーの走行時間は累積計算され、各チームの平均走行時間に対する達成率は最低70%以上、最高150%以下とする。※4名チームの場合は1名50分の平均走行時間となり、各ドライバーの累積規定走行時間は、最低が50分×70%で35分以上、最高が50分×150%で75分以下とする。但し、各チームで1名のみこの制限を緩和

(最低連続走行時間、指定走行回数は各自必須)する。但し女性ドライバー(現役カートドライバーを除く)が、最低連続走行15分の免除を受ける場合は、ゴール後の車両重量を決める+10kgの緩和を受けられない事とし、朝の車検で申告し免除を受けてください。ドライバー交代申告は記名制として、走行終了ドライバーが規定時間内に申告を行う必要があります。

200分耐久レースの交代指定時間枠は、スタートから

|-30-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-30-| 合計3時間20分(200分)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

の9ステイントになります。第1ステイントのみ、スタート後15分間は規定のドライバー交代は禁止とします。停止時は停止線で完全一旦停止。ブレーキをロックするような停止はペナルティです。交代後のピットロードも最徐行にて走行。ピットイン・ピットアウト時は必ず片手を高く挙げて後方に合図をしてください。交代時エンジンはかけたままで結構ですが、交代時の作業は禁止、チェーンスプレーのみ使用可とします。ドライバー交代エリアへは交代するドライバー2名と補助員(登録ドライバー及び登録ピットクルーのみ)の3名までの入場とする。

8・給油作業

最低1回の給油ストップを義務付けします。給油によるピットストップは規定のドライバー交代と同時に行うことができます。給油の場合はドライバー交代エリアにて給油を係員に申告し、スタンドに載せ給油エリアに移動してください。給油後、指定場所に戻りタイマーの合図とともにスタートしてください。給油量は自由とし、最低3分間のピットストップが義務付けられます。給油には十分な時間がありますので、焦ることなく安全に給油作業をしてください。2回以上、給油によるピットインをする場合も給油は指定エリアのみの作業となり、最低3分間のピットストップが義務付けられます。燃料の持込みはすべて消防法により認められた金属製の携行缶を使用して下さい。給油と同時に他の作業を行うことはできません(チェーンスプレーのみ可)。

給油エリアへは交代するドライバー2名と補助員(登録ドライバー及び登録ピットクルーのみ)の3名までの入場とする。

9・赤旗

コースの急激な状況変化(雨や砂利の散乱)や、トラブル車両の停止等によりレースの続行が危険となった場合、ピット出口を閉鎖し赤旗で走行を中断する場合があります。全車は直ちに減速し、トラブル車両を避けピットに戻るものとする。コース上が走行不能の場合は、その場で走行を中止し、オフィシャルの支持に従うものとする、

10・ニュートリゼーション

コースの急激な状況変化(雨や砂利の散乱)やトラブル車両の停止等によりレースの続行が危険となった場合、ニュートリゼーション(以下NZ)となる場合があります。NZ導入決定の原因車両は自力復帰禁止とします。各ポストで黄旗が振られメインポストでSLOWボードが提示されると、NZ発動となりピット入り口がクローズされます。フルコースコーションとなり先頭車両のNo.が表示され、すべてのカートは先頭車両の後ろに縦一列の隊列でのスロー走行となります。No.を表示された先頭車両は、3周以内にスロー走行で縦一列の隊列を整える義務があります。トラブル車両の撤去が終わると、黄旗は振動から静止となり次周でレース再開となります。コントロールラインで緑旗の振動の合図でレースが再開。レースの再開はコントロールラインからとなりますので、コントロールラインを通過するまでは1列整列を崩さず、追い越し禁止となります。コントロールライン手前で並びかけることや横に出る行為もペナルティの対象となります。NZ発動中ドライバー交代の規定時間をまたぐ場合は、ステイント時間は延長されます。解除翌周にピットストップしドライバー交代を済ませて下さい。その場合延長された次のステイントは短くなりますが、短くなったその時間内でドライバー交代が必要となりますのでドライバーの走行時間に注意して下さい。またNZ中、給油が必要でピットインする場合は、ピットインし規定の給油方法に従って給油して下さい。この場合はペナルティの対象となります。

またこのタイミング等の判断は担当オフィシャルの決定により、その件についての抗議は受け付けません。

11・ウェイトハンディ制

決勝結果に基づき次戦以降ウェイトハンディ制を導入いたします。15ポイント以上の決勝ポイントを獲得したチームに対し、決勝獲得ポイント×200gのウェイトハンディを課します。次戦も同様のウェイトハンディ制を導入し累積したウェイトハンディで走行するものとし、ノーポイントに終わった場合は次戦でのウェイトハンディは消滅します。

第4戦(最終戦)につきましては、全車ウエイトハンディなしとします。

12・車検

決勝ゴール後、計量にパスした上位車両は車両保管となります。

第5章 ペナルティカタログ

1・ドライバーズブリーフィング

チーム内で参加しない者がいた場合。T/T1グリッド降格。

2・フラッグ

黄旗無視(追い越し禁止)・ピットスルーペナルティ

黄旗無視(順位に利得があった場合)・ピットスルーペナルティ+1周減算

※警告旗(白/黒)が出る前に順位を戻した場合は、1周減算は免除

黄旗無視(減速)・ピットスルーペナルティ

オレンジボール無視(3回受けた場合)・1周減算、(4回以上)+1周減算

Wチェッカー・1周減算

3・公式練習及びタイムトライアル

公式練習の走行義務違反・T/T、1グリッド降格。重量違反の場合は、4-3を参照。

重量違反・失格、車両違反・失格、タイヤ規定違反・失格。スプリント予選は最後尾から出走可能。

4・スプリント予選

スタートでのフライング・ピットスルーペナルティ

ドライバー違反・失格。重量違反の場合は、4-4を参照。

重量違反・失格、車両違反・失格、タイヤ規定違反・失格。決勝は最後尾から出走可能。

5・レコノサンス

コース上作業違反・1周減算

6・決勝

プッシング(いかなる場合でも)・ピットスルーペナルティ

プッシング(順位に利得があった場合)・ピットスルーペナルティ+1周減算

※順位を戻してピットインペナルティを受けた場合は、1周減算を免除

ブロッキング(後ろを見ての幅寄せ、コーナリング中の幅寄せ)・ピットスルーペナルティ

無線装置、映像撮影装置の脱落、ウエイトの脱落、取付・3周減算

ガス欠(ガス欠によりコース上に止まった場合)・3周減算

7・ドライバー義務・交代

交代義務違反(決められたスティント内でドライバー交代がなかった場合)・1周減算

交代義務違反(一旦停止義務違反)・3周減算

交代義務違反(走行回数義務違反)・1周減算

交代義務違反(最低走行時間義務違反)・1周減算

交代義務違反（累積最低最高走行時間義務違反）・1周減算

交代義務違反（入場制限義務違反）・1周減算

ピットロード速度違反・ピットスルーペナルティ

※いつでも止まれる速度で走行。ピット入り口からピット出口までの全域で制限

8・給油作業

給油義務違反（指定時間を守らなかった場合）・4周減算

給油義務違反（消化しなかった場合）・7周減算

給油義務違反（給油以外の作業をおこなった場合）・ピットスルーペナルティ

9・赤旗

レッドフラッグ無視・5周減算

10・ニュートリゼーション

隊列義務・トップ車両による隊列整列違反・ピットスルーペナルティ

ピットクローズ義務違反・ピットスルーペナルティ

再スタート義務違反・ピットスルーペナルティ

翌周ピットイン違反・ピットスルーペナルティ

11・車検

重量違反・失格、車両違反・失格、タイヤ規定違反・失格

第6章 シリーズ成績に関する事項

決勝獲得ポイントは、チェッカーを受けたものが対象となり、最終戦は決勝のみ1.5倍とする。

1位-25、2位-18、3位-15、4位-12、5位-10、6位-8、7位-6、8位-4、9位-2、10位-1、とする。

予選獲得ポイントは、周回数の1/2以上を周回した車両が対象となり、

1位-8、2位-6、3位-4、4位-3、5位-2、6位-1、とする。

シリーズポイントは、全戦(予選&決勝ポイント)の合計で決定されるものとし、同点の場合は上位入賞回数が多いチームが上位とする。

赤旗などで決勝レースがそのまま中止となった場合は、レース時間の2/3以上が経過していた場合は全ポイント、それ以下の場合は1/2のポイントがあたえられるものとする。

第7章 損害補償に関する事項

主催者及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車両の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するものの及び大会役員は一切の保証、責任を追わないものとする。

第8章 広告に関する事項

ナンバープレートに広告を表示することは認められません。また、参加車両の広告についてオーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有します、ドライバーはこれを拒否することができません。

1.公序良俗に反するもの 2.政治・宗教に関連したもの 3.本大会に関係するスポンサーと競合するもの

第9章 保険・共済会に関する事項

FORMATION LAP PROJECT [(財) スポーツ安全協会]

1) FORMATION LAP PROJECT (FLP)のスポーツ安全保険にご加入下さい。

2023年4月から2024年3月までのつま恋カートコース練習走行、他FLP主催イベント全てに対応いたします。

保険のみの年会費は¥3,000です。f-lap.net 及び、つま恋カートコース受付にて前日までにお手続き下さい。

加入区分	対象範囲	損害保険金額				賠償責任保険 支払い限度額	突然死葬祭費用保険 支払い限度額
		死亡	後遺障害	入院(1日)	通院(1日)		
中学生以下	団体活動中と その往復中	2000万円	3000万円	4000円	1500円	対人対物1事故5億500万円 対人1人1億500万円	180万円
64歳以下		2000万円	3000万円	4000円	1500円		
65歳以上		600万円	900万円	1800円	1000円		

2) レース中事故等で怪我などをした場合はすみやかに必ず医師の診断を受けて下さい。

事故受付は事務局までお願いいたします。診断がない場合保険が適用されない場合があります。

第10章 その他の事項

1) この特別規則書に定める項目は、安全や公平性及び、大会目的と合致する場合、変更することがあります。

変更する場合は大会当日までに発表いたしますが、大会当日ブリーフィングで伝える場合があります。

2) 競技に関する最終判断は競技長に委ねることとします。

3) 本大会において撮影された写真及び動画は、スポーツカートの普及と振興のためSNS等に

公開されることがあります。

4) 300分耐久のスティント数は

| -30-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -20-| -30-| 合計5時間(300分)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

の14スティントになります。